

こうふくプラン向日（第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画）に寄せられたご意見と市の考え方

項	意見の該当箇所	意見	向日市の考え方
1	34 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	地方自治体が主となって社会福祉の充実に貢献することが大切であろう。そのためには、まず状況分析は欠かせない。向日市と一口に言っても、寺戸、上植野、鶏冠井など地区によっては高齢化が高い、あるいは、子どものいる若い世帯が多いなど様々であろう。各地区のニーズと状況分析は細かい情報収集が必要である。その上で、住民参画を促す。これが地方自治にとって大切でないか。	平成28年度に実施した「向日市介護予防・日常生活支援総合事業に関する調査」により、高齢者等の状況の把握・分析を行ったところです。 ご指摘のとおり、各行政区によって状況は異なりますが、本市は、西日本で最も小さな市であり、市内の宅地は、北西地域の西ノ岡丘陵を下るとおおむね平坦な地形であり、ひと続きの街を形成していることから、市域全体を一つの日常生活圏域とし、計画に示しております内容に沿って、各地域の実情に合った事業を市民の皆様とともに進めていきたいと考えています。
2	34 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	認知症対応であるが、2025年には70歳以上の高齢化が避けられない。特に独居の高齢者サービスをどうするのか。リハビリ中心の前期高齢者とは異なる対応が求められる。訪問介護を充実させ、市独自の取組としてサービスを充実させる必要がある。地域密着型デイサービスも1か所だけではなく複数必要であろう。また乙訓が一体となり福祉を充実させることが必要である。	厚生労働省の推計によりますと、高齢化の進展に伴い、2025年には高齢者の約5人に1人が認知症になるとされています。 訪問介護については、介護保険制度における「訪問介護」及び介護予防・日常生活支援総合事業における「訪問型サービス」により充実を図っているところですが、市民のニーズに合った内容となるよう引き続き検討していきます。 また、次期計画における地域密着型通所介護の見込量は、平成29年度比103.0%、認知症対応型通所介護の見込量は、平成29年度比106.3%とする予定です。 今後におきましても、市民のニーズに合った介護保険サービス（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を提供するとともに、必要に応じて乙訓2市1町で連携を図っていきます。
3	34 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	向日市としてどう地域福祉を進めていくのか。スローガンばかりで具体性に欠ける。市民参画のためには「このくらいしか予算がない、さあ市民の皆さんどうします、意見を出してください、説明はいつでもします」姿勢も大切なのでは？	地域共生社会の実現にあたり、市民の皆様が必要になりますので、介護予防・日常生活支援総合事業の充実や包括的な支援体制づくりの構築に向け、様々な仕掛けを検討していきます。
4	34 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	もっと向日市介護者の会をいろんなイベントに参画させてほしい。経験者抜きで政策を決めないでほしい。	貴団体におかれましては、本市の政策に関わる主要な委員会等に参画いただき、貴重なご意見をいただいているところです。 今後におきましても、引き続き、様々な委員会等に参画いただき、本市の高齢者福祉・介護保険事業に対するご意見を賜りたいと考えています。
5	-	前回、平成27年3月策定の「こうふくプラン向日」には、パブリックコメントが無かったと聞きました。もっと市民に周知する必要があるのでは！今回は12月の広報に載っていましたが、もっと多くの意見を求める努力をお願いします。	ご指摘のとおり、現行計画のパブリックコメントにおいて、市民等からの意見はありませんでしたので、今回のパブリックコメントにおいては、計画案の複数配架及び貸出対応をするなど工夫をしたところです。 今後におきましても、引き続き、広報紙やホームページにおいて周知し、意見を募集していきます。
6	36 交通安全対策の推進	運転免許自主返納を促すには、特典を考えて頂きたい。運転経歴証明書申請には手数料がかかるようで、無料になれば返納が増えるのではと思います。高齢者に対する交通安全教室など地域の集会所を使って行ったらどうか。町内会脱退者が増えている中歯どめになればと思う。	こうふくプラン（案）に記載のとおり、担当部署と連携しながら、運転免許証自主返納者への支援施策を検討し、運転経歴証明書を提示された65歳以上の方を対象に、協賛店で割引などの特典を受けていただける施策を平成30年4月から開始する予定です。 また、高齢者に対する交通安全教室の開催場所については、ご意見を踏まえて、今後検討していきます。

項	意見の該当箇所	意見	向日市の考え方
7	38 認知症に対する正しい知識・理解の普及啓発	認知症高齢者等の徘徊模擬訓練引き続き実施とあり、市民の周知をよろしく。	協力事業所との連携や町内回覧、広報紙等を通じて周知するよう努めます。
8	-	私自身後期高齢者で病気になった時の不安はとともあります。往診をしてくださる医院を知っておきたいです。明示を願います。	<p>日頃から、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになるかかりつけ医をもつよう努めていただければと存じます。</p> <p>なお、介護保険制度における、居宅療養管理指導（在宅で療養していて、通院が困難な利用者へ医師などが家庭を訪問し療養上の管理や指導、助言等を行うもの）を行っている医療機関については、京都府及び京都市のホームページに掲載されており、本市ホームページにも当該ページのリンクを掲載しています。 （京都府）http://www.pref.kyoto.jp/kaigo-jigyo/1167194419880.html （京都市）http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000200845.html</p>